

研究機関：広島大学

研究課題名	カルバペナム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症に関する臨床的及び微生物学的研究
研究責任者名	広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜
研究期間	2018年10月5日～2020年12月31日
対象者	2014年9月～2016年12月の間に本院でCREによる感染症を引き起こし治療した患者。
意義・目的	我が国ではCRE感染症症例の内訳は国立感染症研究所より報告されていますが、治療内容及び予後、分子疫学等についての報告はほとんどありません。今回、CRE感染症症例の治療内容及び予後の実態を明らかにするとともに、感染対策上有用な「CRE」の定義を見出すこと、さらにCREのカルバペナム耐性の遺伝的背景や分子疫学を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報、CRE感染症発症時に検出され、保存されているCRE菌株、CRE菌株情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、診療科、主基礎疾患名、CRE検出年月日、感染症診断名、治療薬、治療期間、転帰：28日死亡、入院から感染症治療開始までの日数、糖尿病、悪性腫瘍（過去5年）、移植（臓器またはHSCT）、手術歴（過去5年以内）などの既往歴、留置物（CVC、尿路カテーテル、ドレーン）、経管栄養、過去3か月以内の抗菌薬使用等。です。 CRE菌株から使用する内容は菌種、分離検体名、薬剤感受性検査結果、判明していればカルバペナーゼ産生腸内細菌科細菌（CPE）とそれ以外のnon-CPE CREの区別の情報等です。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	国公立大学附属病院感染対策協議会所属施設で、研究への参加に同意する施設（約32施設）名古屋大学に情報を集め名古屋大学病院（研究責任者 八木 哲也）が解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-1613 広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜